



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠ 警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

⚠ 注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 警告

- ドア本体、機能ユニット吊り込み後、すぐに本体及び機能ユニット側の上/中丁番の軸をおろしてください。ドア本体が脱落し、ケガをするおそれがあります。
- ドア本体、機能ユニットを吊り下ろしの際は、上/中丁番のカバーを外し、軸を上げてください。その際、必ずドア本体、機能ユニットを保持しながら、軸を上げてください。ドア本体が脱落し、ケガをするおそれがあります。

⚠ 注意

- 建付け調整のとき、丁番取付けねじを全部外さないでください。ドア本体が脱落し、ケガをするおそれがあります。
- 丁番取付けねじ、および丁番裏板取付けねじは増締めをして締付けてください。締付けがゆるいとドア本体脱落のおそれがあります。(締付けトルクは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ })
- 枠周りの漏水防止のため下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、必ず防水テープ(別売り)を張ってください。
 - ・指定個所にはシーリング処理をしてください。
 - ・シーリング個所にはコーキング材専用のプライマーを使用してください。(別途)
 - ・コーキング材は、1成分系変性シリコンを使用してください。(別途)
 - (ALC外壁の場合は、専用のポリウレタン系シーリング材を必ず使用してください。(別途))

■取付け上のおお願い

- 枠の取付けは、必ず指定の取付けねじを指定の本数使用して取付けてください。
- 立ち上がり枠時の縦枠は、下枠下端より100mm出ますので、現場の納まりに合わせて切断してください。
- 本製品は土間納まり専用の商品です。土間以外の納まりに使用する場合は、下枠部の防水施工を行ってください。

■使用ねじ・部品一覧表

㊦	㊧	㊨	㊩	㊪
特平皿木ねじ φ3.8×50	特平皿木ねじ φ3.8×32	スクリュー釘 φ2.1×25	特平皿木ねじ φ3.1×20 ※アングル付枠のみ同梱	薄平小ねじ(D7) M4×8

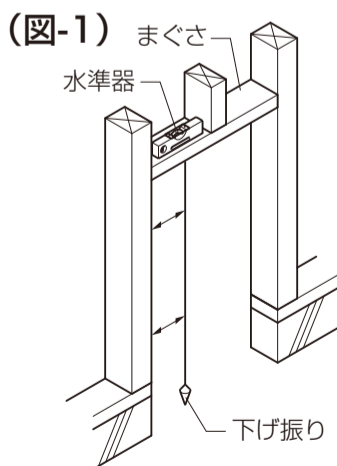
■取付け順序

1 開口部の確認

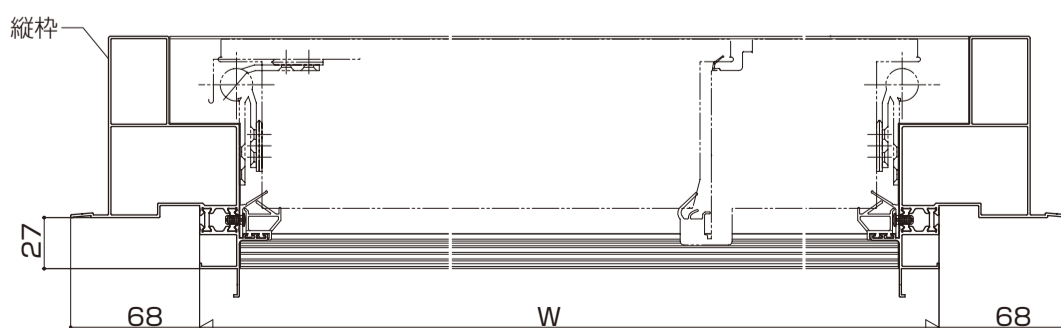
- ①開口寸法(H・W)は、右表(製品基本寸法)をもとに確認してください。
- ②下げ振りで前後・左右のくずれや、柱のねじれなどを正しく調整し、水準器でまぐさの水平を出してください。(図-1)

■製品基本寸法

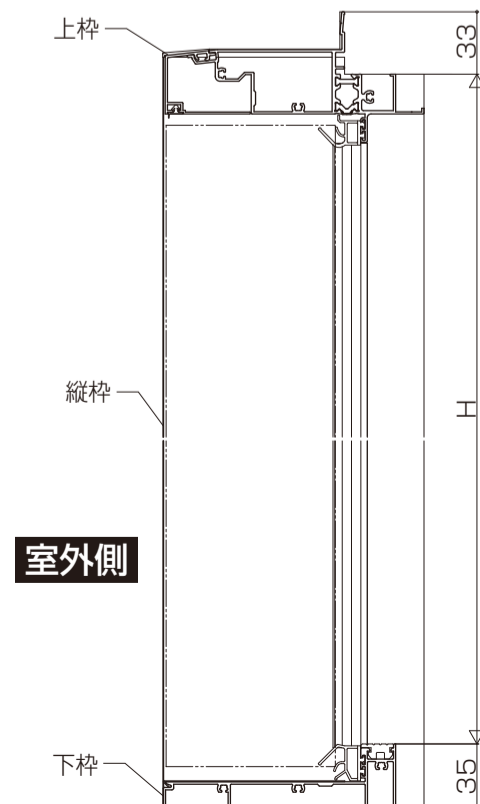
	タイプ	開口寸法
W	親子	1100
H	ランマなし	2330



■横断面図



■縦断面図



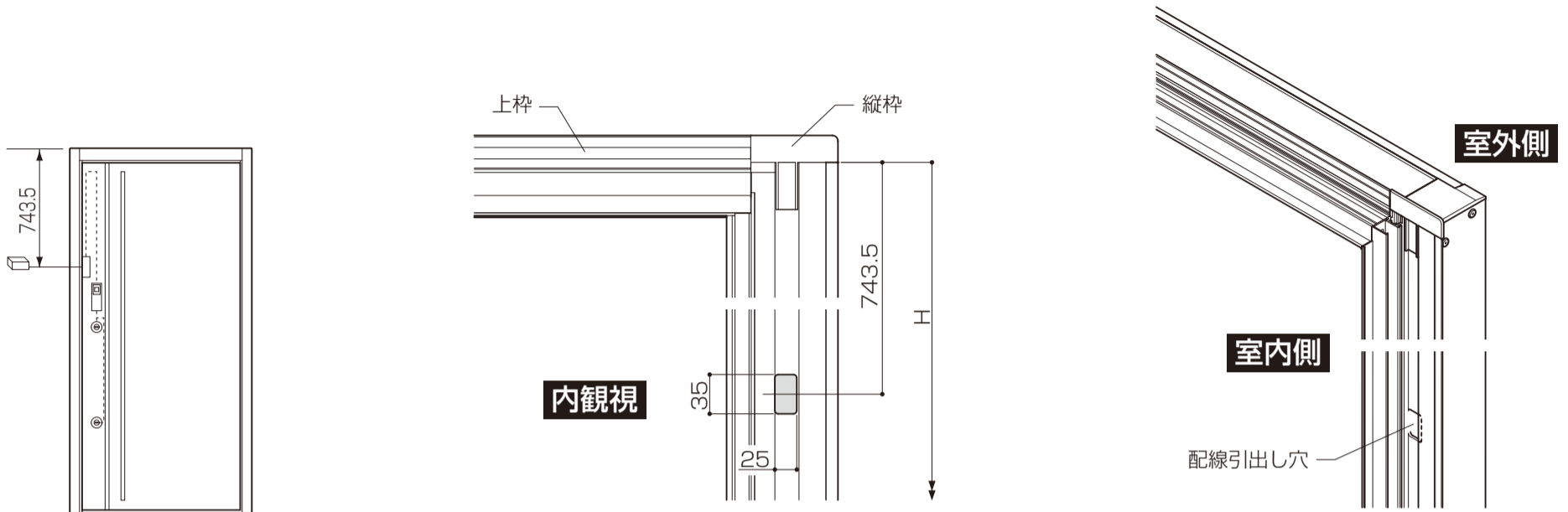
■電気錠 配線引出し作業（電気錠 AC100V式のもの作業になります。）

※電気錠 AC100V式の場合、躯体内配線コードを壁内に通すために、吊元側の柱またはまぐさの切欠き加工が必要になります。

※電動クローザー仕様の場合、躯体内配線が2本となります。

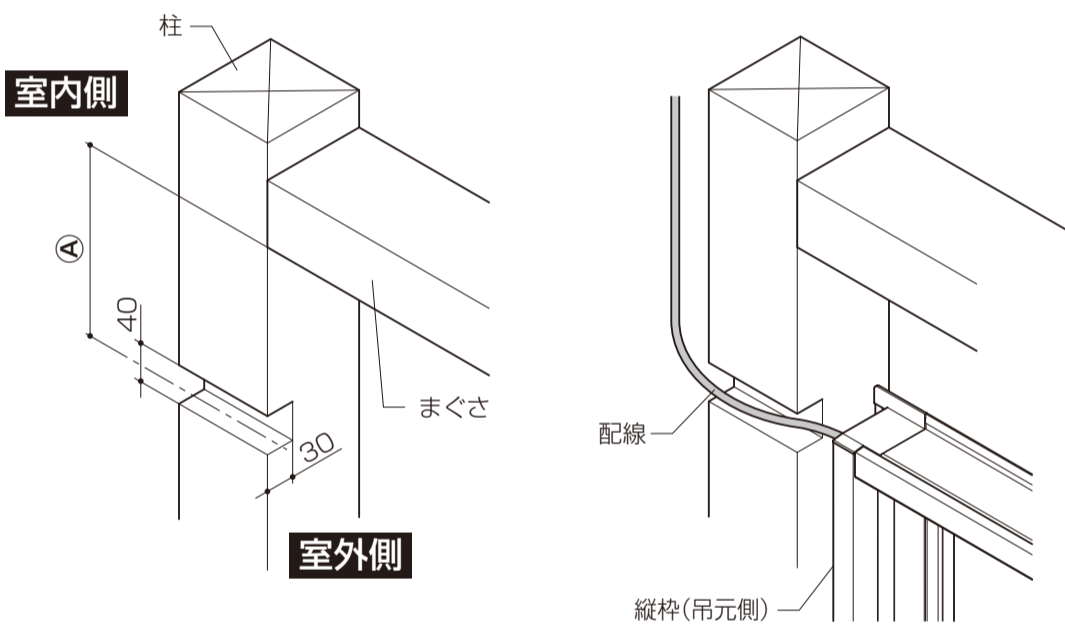
【配線引出し加工位置】

○親子

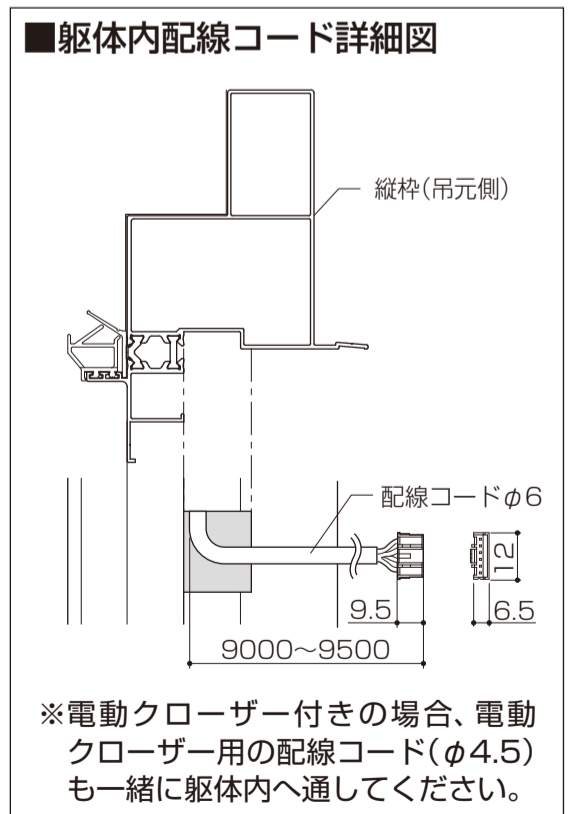
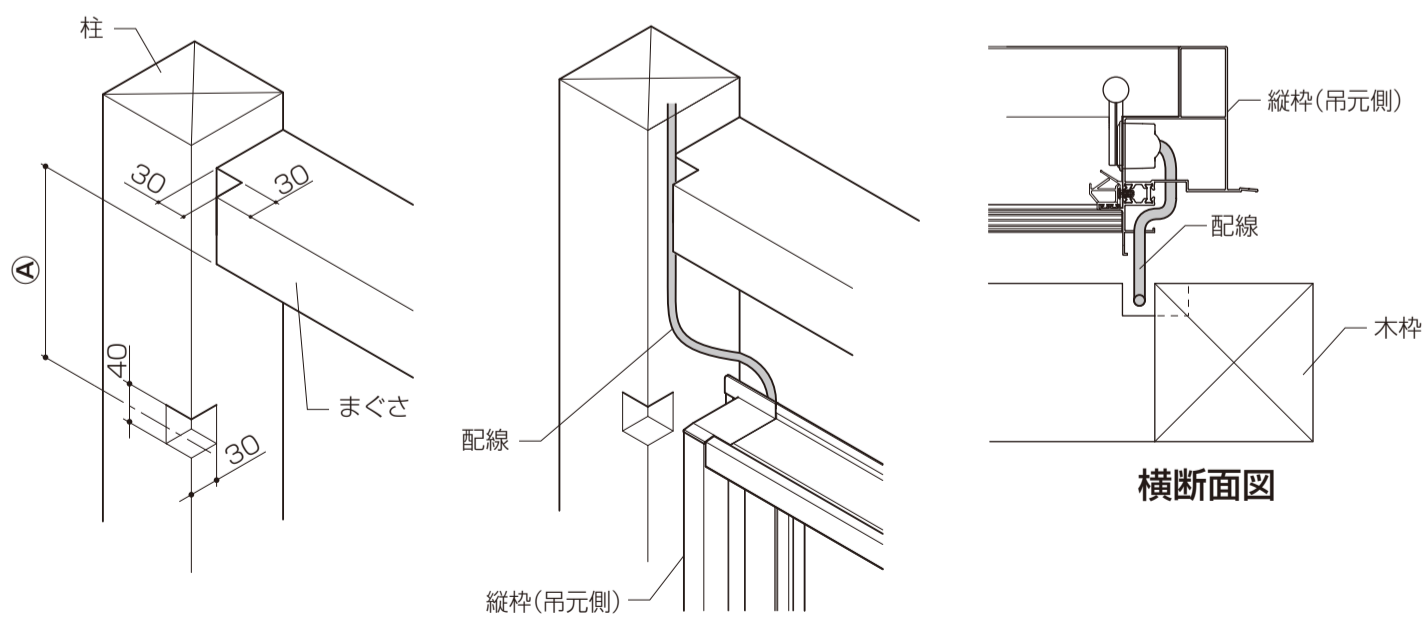


【配線引出し部の木枠切欠き加工例】

○吊元側縦枠から柱を通してコードを通線する場合



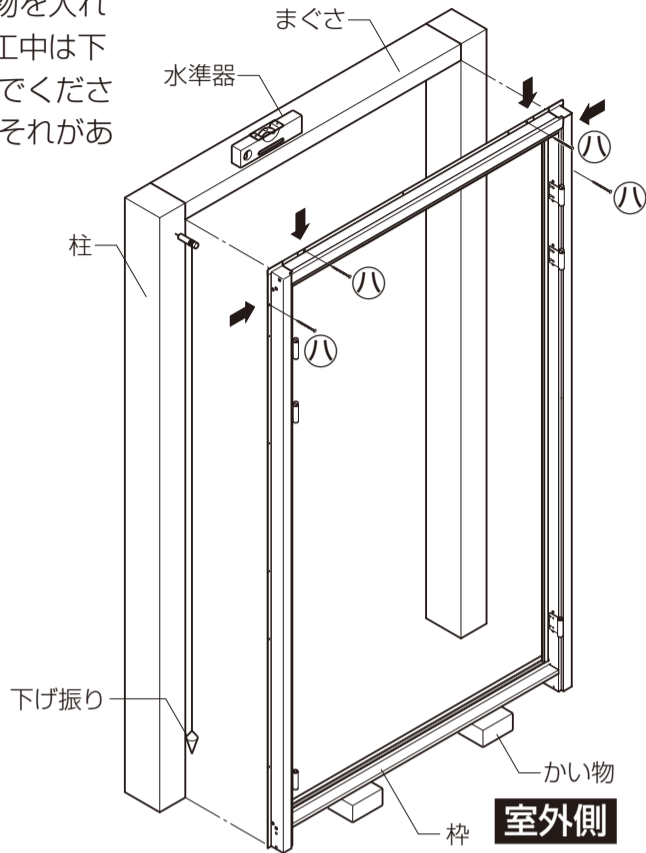
○吊元側縦枠から上枠側へコードを通線する場合



お願い
 ※配線引出し加工位置と配線コードの詳細寸法を参考に現場状況に合った加工を行ってください。

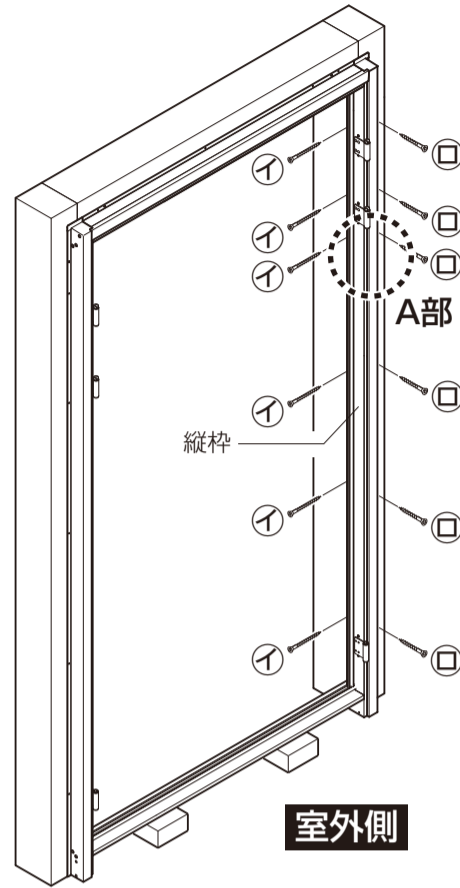
2 枠の仮止め

- ※図中の記号は、取付けねじの種類を表します。
- ①枠を開口部に仮止めします。
- ※(➡)の位置に仮止め用の釘穴(長穴)があります。
- ※下枠垂れ下がり防止対策として、下枠下部にかい物を入れてください。又、施工中は下枠の上には乗らないでください。枠が変形するおそれがあります。

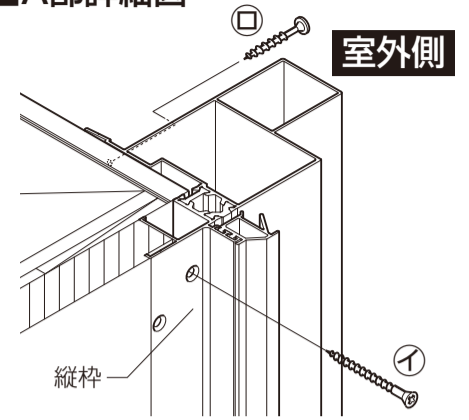


3 縦枠の固定

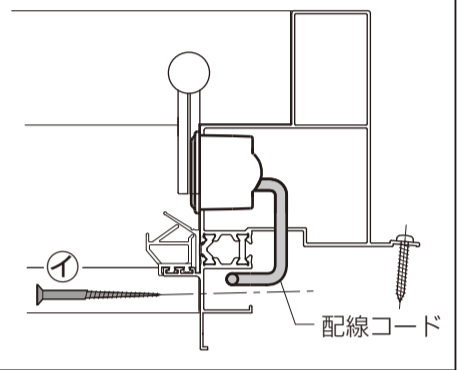
- ①縦枠を㊸のねじで固定します。
- ②同じく㊹のねじで縦枠を固定します。



■A部詳細図



お願い
※㊹木ねじを打つ際に配線コードをキズつけないようにしてください。



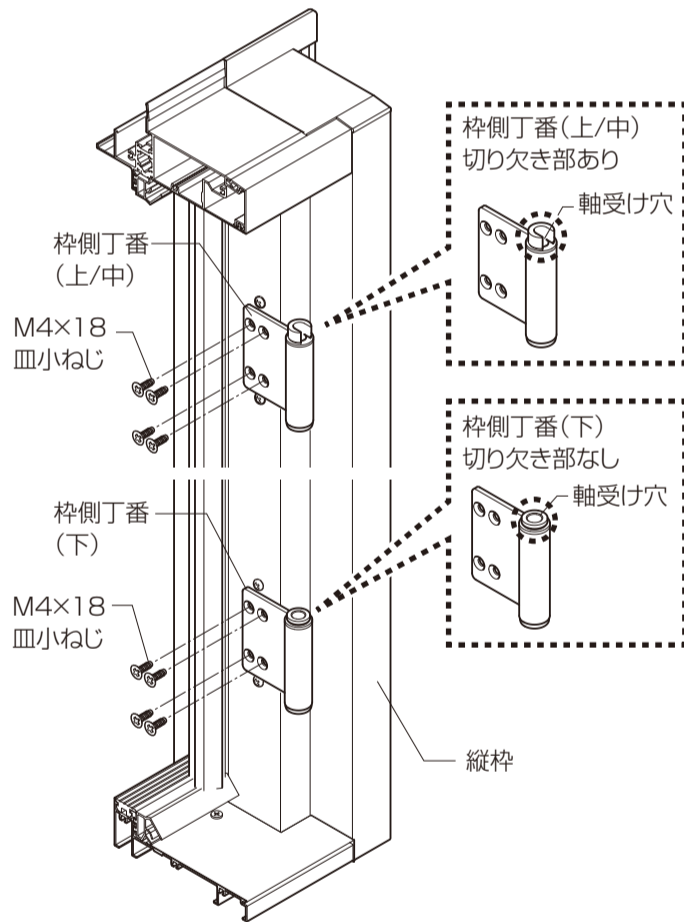
4 ドア本体、機能ユニットの吊り込み

■枠側丁番の取付け

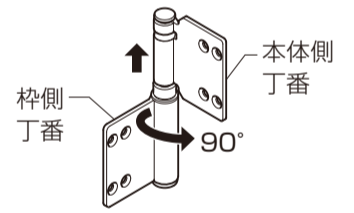
▲注意

- 丁番取付けねじ、および丁番裏板取付けねじは増締めをして締付けてください。(締付けトルクは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }) ドア本体の脱落の原因となります。

- ①軸受け穴がついている方が枠側丁番となります。
- ②丁番には(上/中)・下の区別があります。軸受け部に切り欠きがある丁番は上、切り欠きがない丁番は下になるよう取付けます。(取付けねじは丁番セットに同梱されています。M4×18 皿小ねじ)



丁番(上/中)の枠側丁番から本体側丁番を外す際は、枠側丁番に対し本体側丁番を90°回転させて軸を抜いてください。
※軸を抜く際は、必ずドア本体、機能ユニットを支えながら抜いてください。

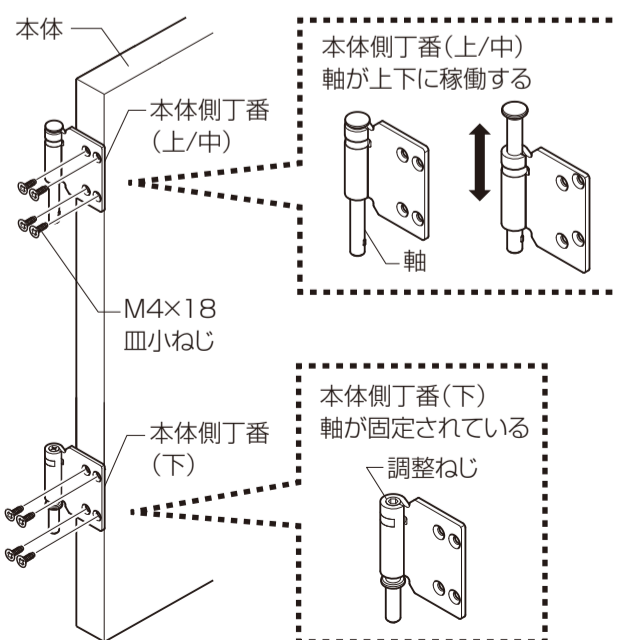
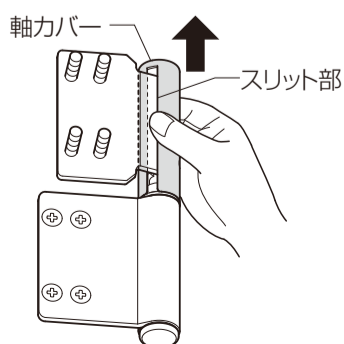


■本体丁番の取付け

- ①丁番(上/中)、丁番(下)軸カバーを外してください。
※軸が付いている方が本体側丁番となります。
- ②丁番には(上/中)・下の区別があります。軸が上下に可動する丁番は上、稼働しない丁番は下になるよう取付けます。(取付けねじは丁番セットに同梱されています。M4×18 皿小ねじ)

軸カバーの外し方

- 軸カバーをつまみ、スリット部を押し広げながら矢印の方向に押し上げてください。
- ※押広げすぎると軸カバーが破損する可能性があります。

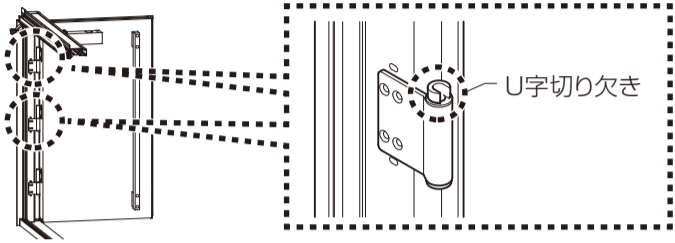


■ ドア本体の吊り込み

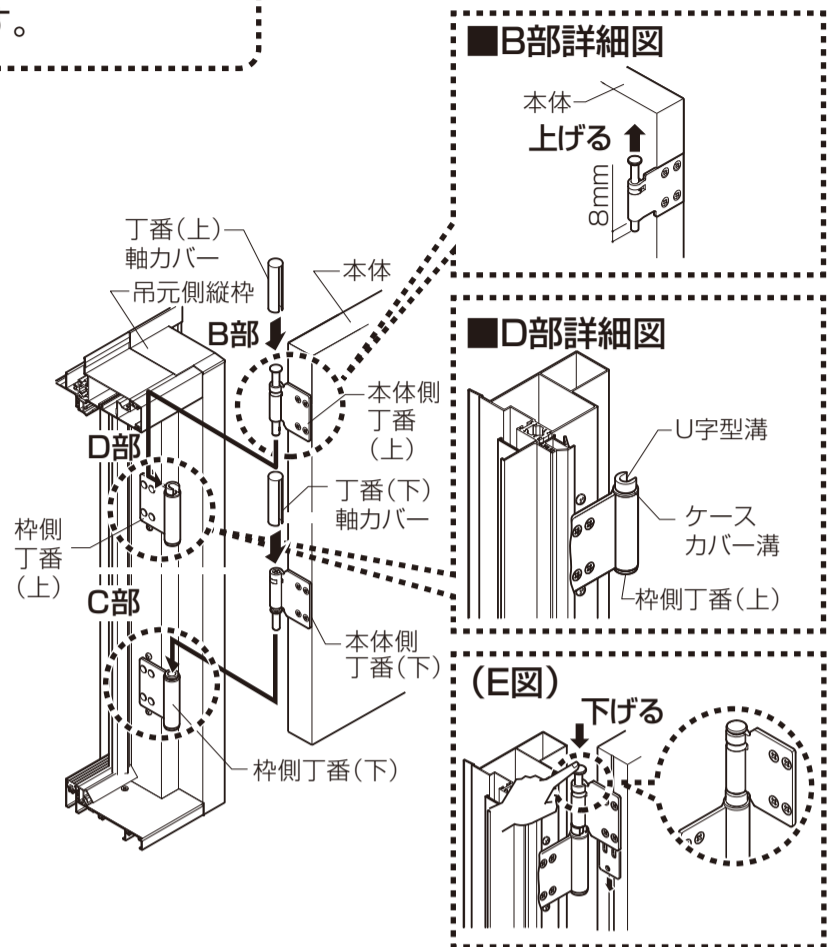
●お願い

※製品取付け(ドア本体の吊り込み)時に枠側丁番の軸受けに木くずなどのゴミが無いことを確認し、取付けてください。異音や開閉に支障をきたす原因になります。

- ① 本体側丁番(上/中)の軸を止まるまで上げます。(B部)
※軸は8mm程残した位置で止まります。
- ② 扉本体の開き角度を90°にし、本体側丁番(下)を枠側丁番(下)に差込みます。(C部)
- ③ 本体側丁番(上/中)の軸を枠側丁番(上)のU字型溝にはめ込みます。(D部)
※吊り込み後、ドアクローザーを取付けせずに扉を全開にすると、縦枠と扉が干渉し製品がキズつくためご注意ください。



- ④ 本体側丁番(上/中)軸を止まるまで下げてください。(E図)
- ⑤ 丁番(上/中/下)軸カバーを取付けます。
※枠側丁番の溝にはめ込んでください。



▲ 警告

- 本体、機能ユニット吊り込み後、すぐに本体及び機能ユニット側の上/中丁番の軸をおろしてください。ドア本体が脱落し、怪我をするおそれがあります。
- 本体、機能ユニットを吊り下ろしの際は、上/中丁番のカバーを外し、軸を上げてください。その際、必ずドア本体/機能ユニットを保持しながら、軸を上げてください。ドア本体が脱落し、ケガをするおそれがあります。

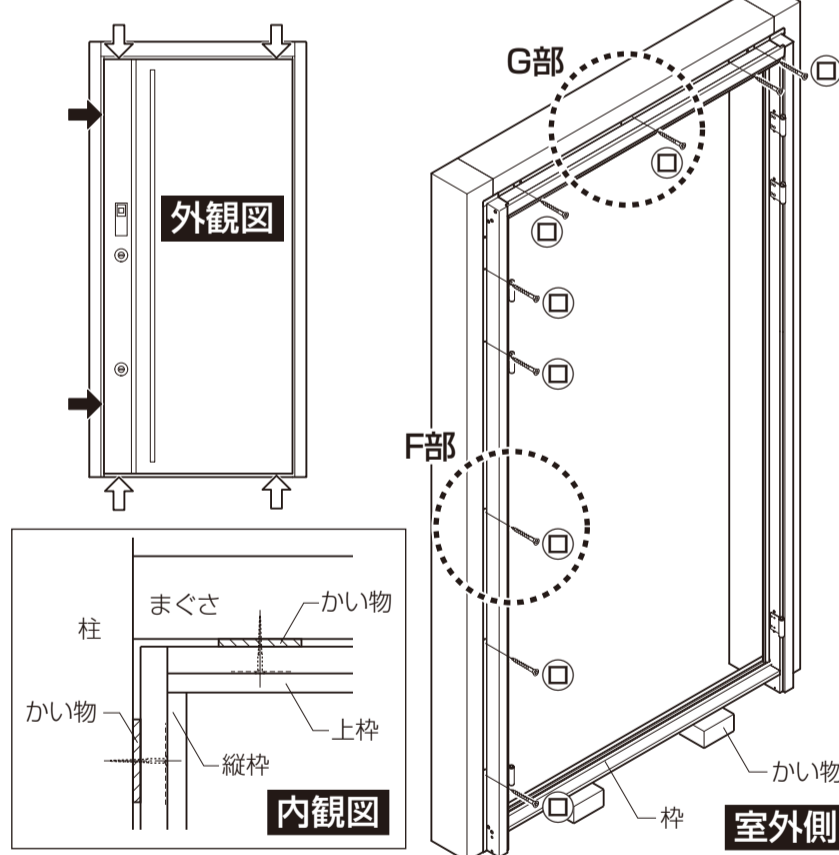
■ すき間(チリ)の調整

- ① 柱に①皿木ねじの掛かりが確保されていることを確認してください。
- ② 上下(↓)および、左右(→)のすき間を均等にし、戸当り気密材が密着するように枠のねじれ・コロビを調整します。
- ③ 枠と躯体とのすき間には、かい物を当てて、枠を本固定してください。
※かい物を当てずに固定すると、枠のゆがみやねじれを生じますのでご注意ください。

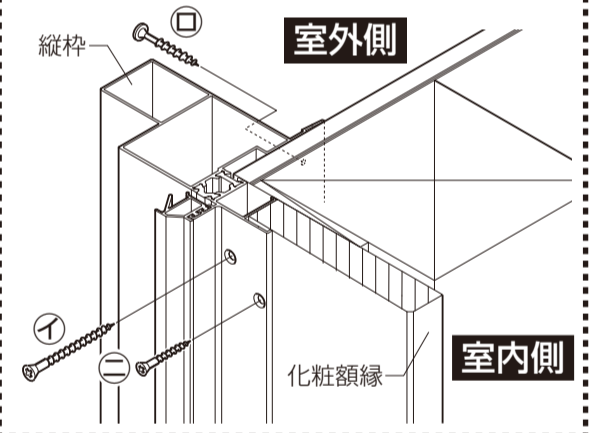
■ コンクリート納まりの場合

- アンカーは別売りを使用します。取付け説明書は、アンカーセットの中に同梱してあります。

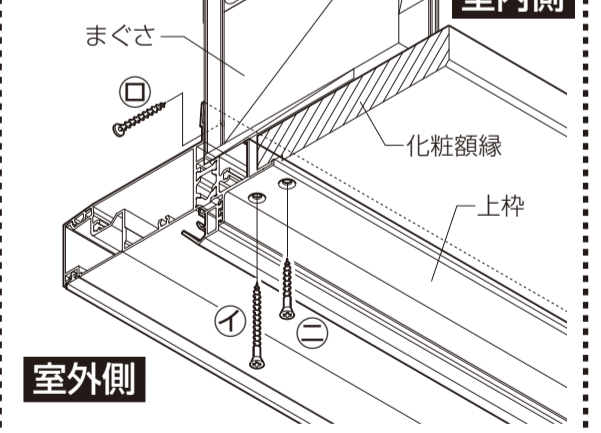
■ すき間(チリ)の調整



■ F部詳細図

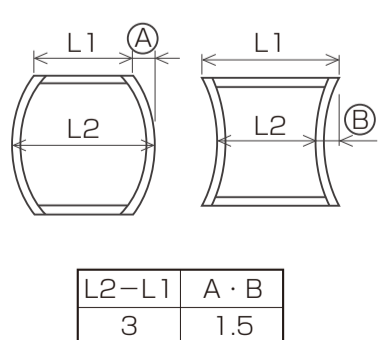


■ G部詳細図

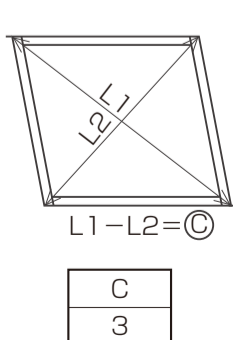


※躯体に固定する際に枠が下記の寸法になっているかを確認して取付けてください。

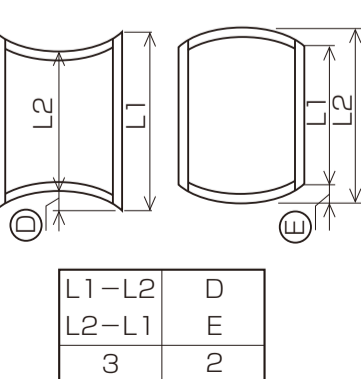
● 枠のWたいこ・つづみ



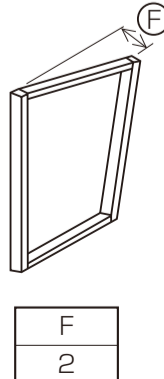
● 枠の対角



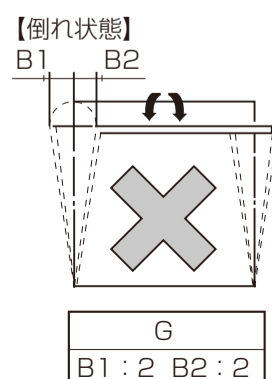
● 枠のHたいこ・つづみ



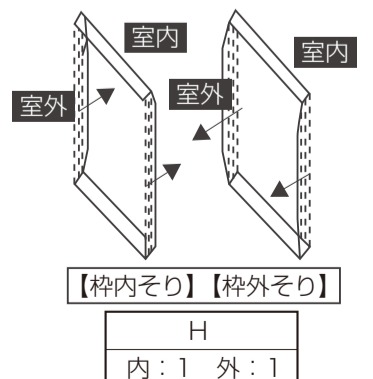
● 枠のねじれ



● 枠のたおれ



● 枠のそり



■建付け調整

お願い

※電動ドライバーを使用しないでください。

※ドア本体(または機能ユニット)を吊込んだ後、枠と本体(または機能ユニット)のすき間が納まり図通りになっているか確認してください。
すき間が納まり図通りになっていない場合は、以下の手順ですき間を調整してください。(納まりは、「■参考収まり図」を参照してください。)

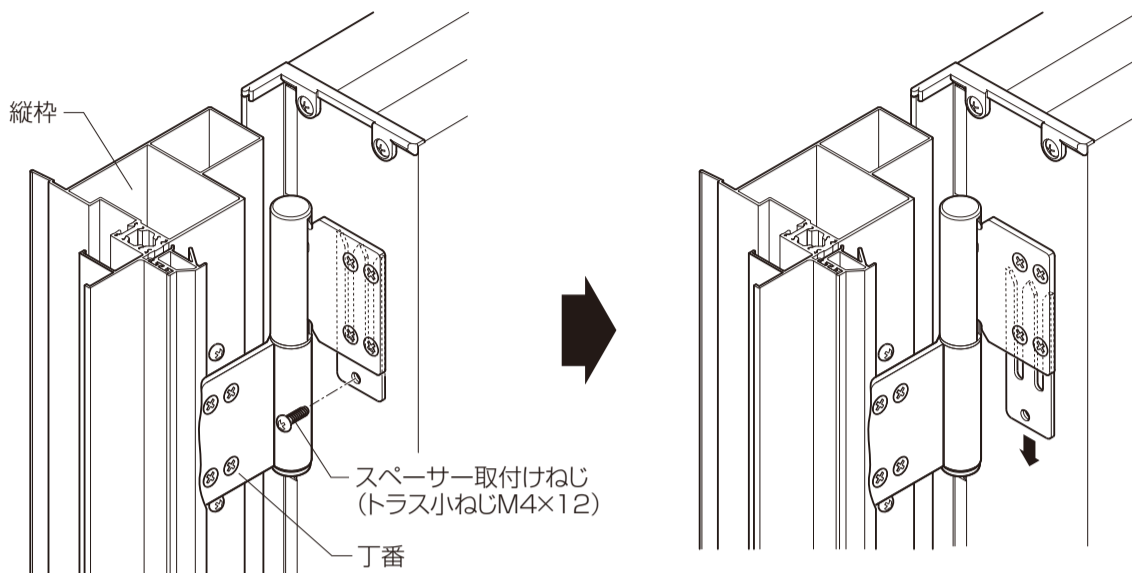
1 左右方向のすき間の調整

※スペーサーはあらかじめ本体に取付けてあります。

- ①スペーサー取付けねじを外します。
- ②丁番取付けねじ(4本)をゆるめます。
- ③スペーサーを引き抜いて外します。
- ④丁番ねじを締付けます。

※スペーサーを1枚外すと1.5mm、2枚外すと3mmドア本体が吊り元側へ寄ります。

※スペーサーを追加すると、戸先側へ寄ります。

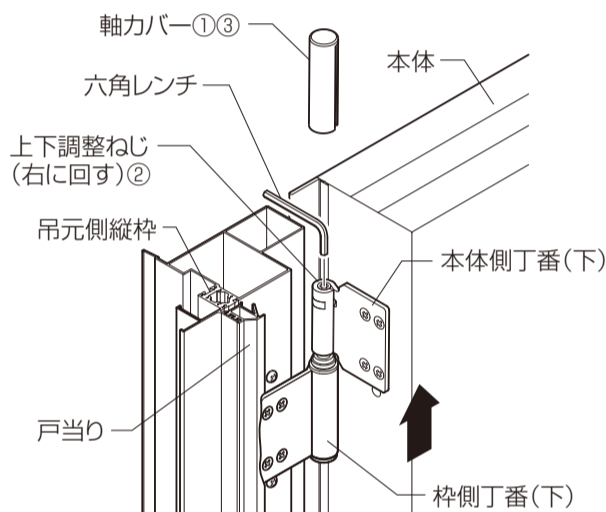


▲ 注意

●丁番取付けねじを全部外さないでください。
本体が脱落し、ケガをするおそれがあります。

2 上下方向のすき間の調整

- ①本体側丁番(下)の軸カバーを外してください。
- ②上下調整ねじを六角レンチ(4mm)を使用して右に回しドアを上げて位置を決めてください。
- ※ドア本体は上方向に3mmまで調整できます。
- ③軸カバーをはめてください。



3 前後(室内・室外側)方向の調整

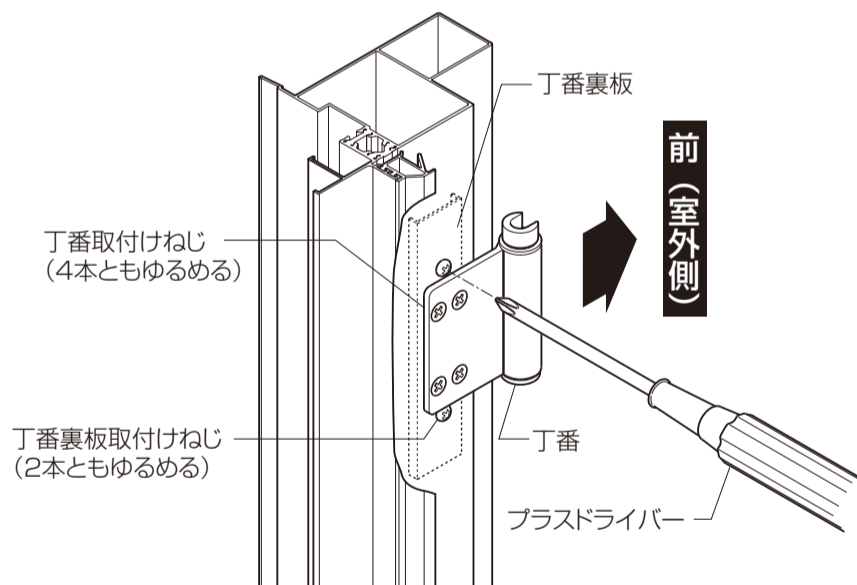
- ①ドア本体を枠から外し、枠側の丁番取付けねじ(4本)と丁番裏板取付けねじ(2本)をゆるめます。
- ②室外側に+3mmのみドア本体が動きます。
- ③①でゆるめた丁番取付けねじと丁番裏板取付けねじを締付けます。

▲ 注意

●丁番取付けねじ、および丁番裏板取付けねじは増締めをして締付けてください。(締付けトルクは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }) ドア本体の脱落の原因となります。

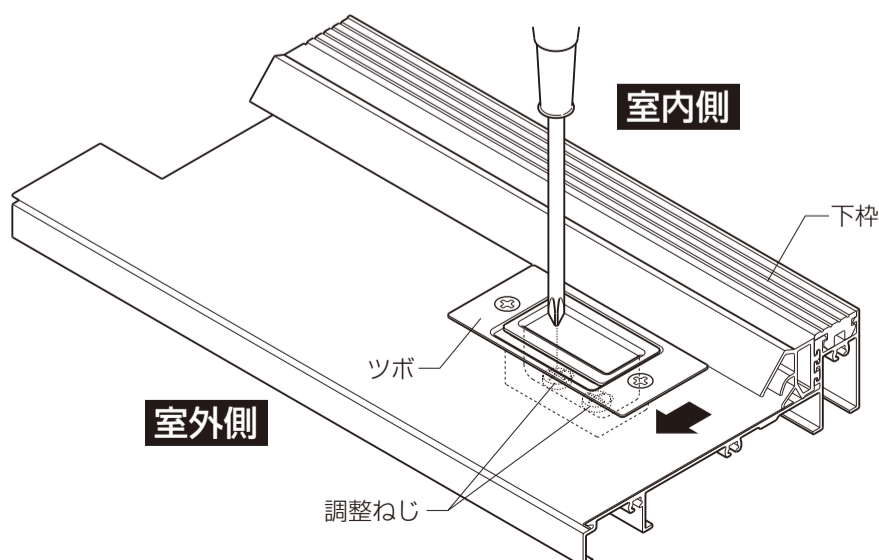
お願い

※取付けねじを全部外さないでください。丁番裏板が脱落します。



4 機能ユニットの前後方向の調整

- ①機能ユニットを開けます。
- ②ツボ内部の調整ねじをゆるめ、位置を調整してください。
室外側に3.5mmまで機能ユニット位置を調整できます。
※上枠・下枠共に調整できます。
※下枠のツボの中に砂などがたまった場合は、清掃してください。
- ③②でゆるめたツボ内部の調整ねじを締付けます。

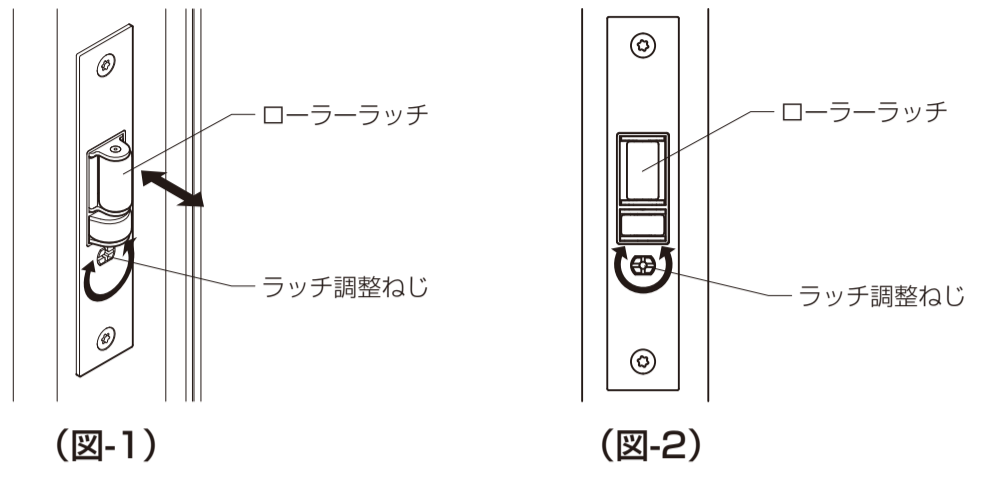


5 ローラーラッチの出の調整(手動開閉仕様の場合のみ)

- ①ローラーラッチのラッチ調整ねじ(図-1、図-2)を押し込みながら回転させることでローラーラッチの出幅を調整します。
 ※ドアを閉めるときに、スムーズに閉まらない場合は、ラッチ調整ねじを右に回して、ローラーラッチを引っ込めてください。

お願い

※ラッチ調整ねじを調整した後は、ラッチ調整ねじの頭が、必ずフロント面と面一になるようにしてください。



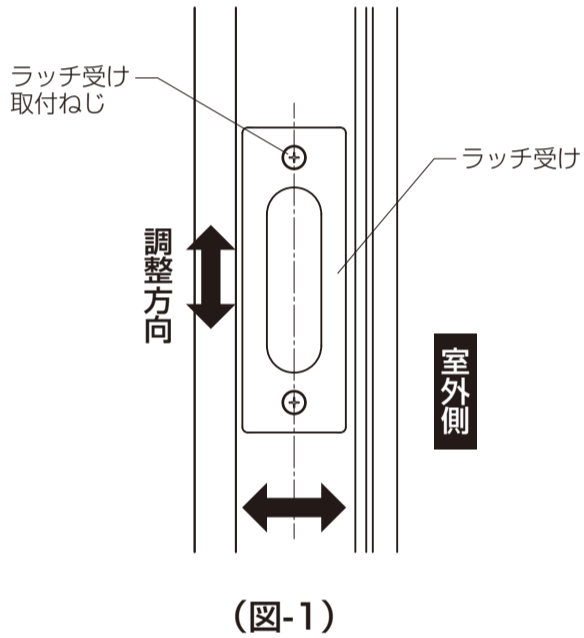
6 ラッチ受け・ストライクの調整

1 ラッチ受けの調整(図-1)

- ①ラッチ受けの固定ねじを2本とも回しゆるめます。
 ②ラッチ受けの位置を合わせてからねじを締直します。

お願い

※ラッチ受け取付けねじを全部外さないでください。
 トロヨケが脱落し、取付けられなくなります。

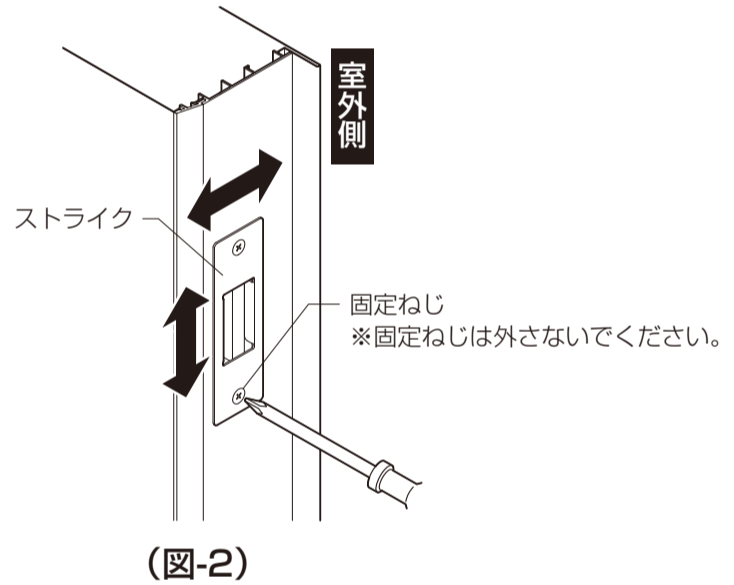


2 ストライクの調整(図-2)

- ※ラッチ受け調整後、どうしても鍵が掛からない場合に実施してください。
 ①ストライクの固定ねじを2本ともゆるめます。
 ②ストライクの位置を合わせてからねじを締直します。

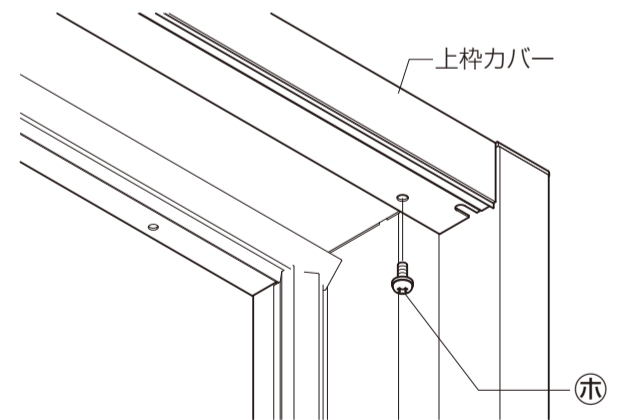
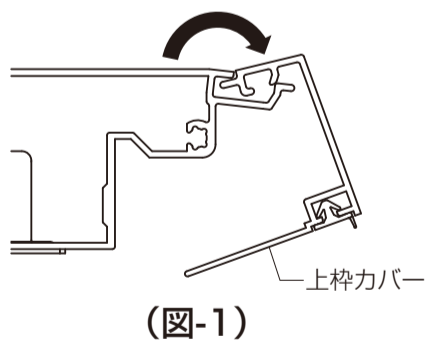
お願い

※ストライク取付けねじを全部外さないでください。トロヨケが脱落し、取付けられなくなります。
 ※ラッチ受け・ストライクの調整はドアクローザーの調整と合わせて行ってください。

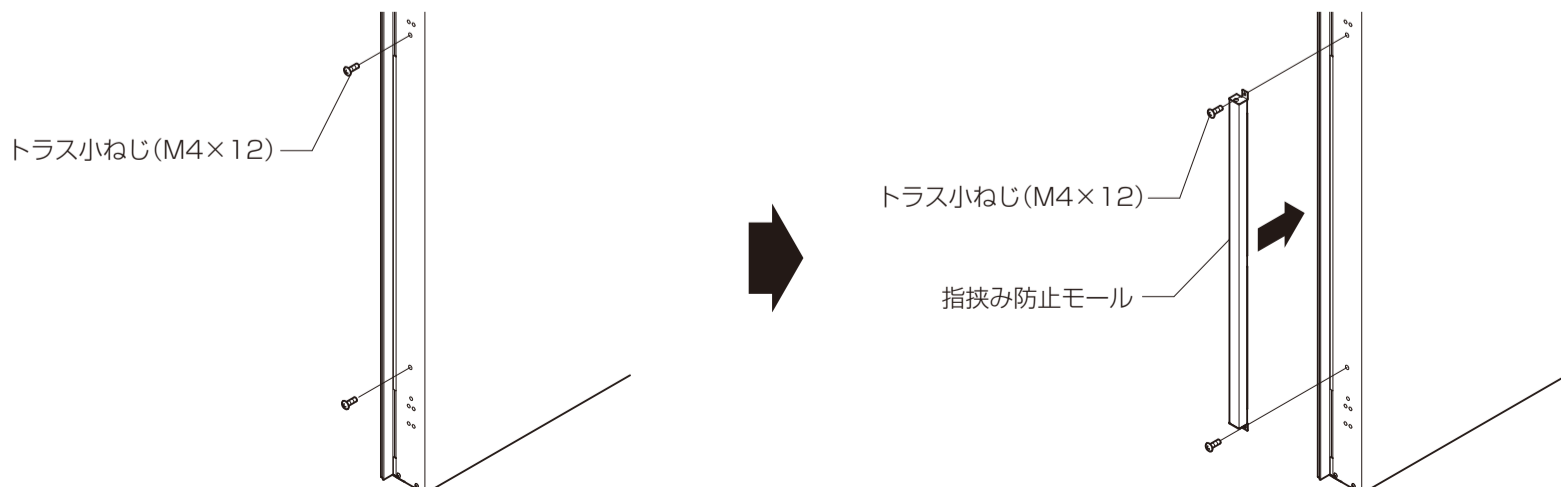


7 建付け調整後

- ①上枠カバーを図-1のようにして回転しながらはめ込み、両端をねじⒺで固定します。



- ②本体吊元側のトラス小ねじ(M4×12)を取外し、指挟み防止モールを取付けます。

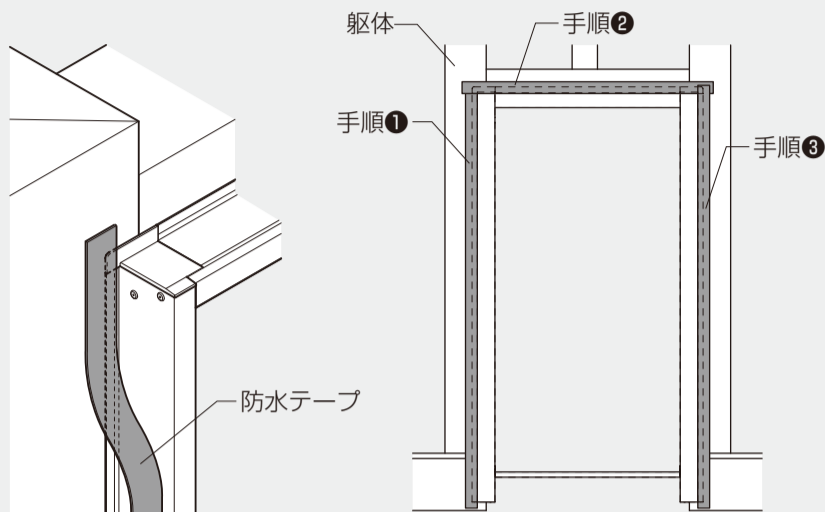


■ 枠周りへの防水テープの張付けと壁のシーリング処理

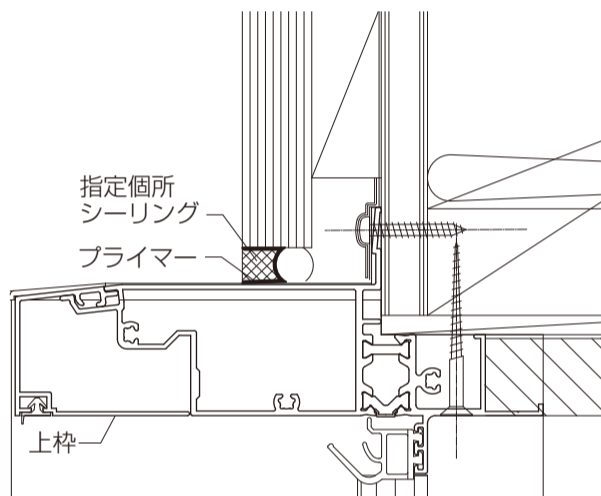
- 枠周りの漏水防止のため、防水テープの張付けと、指定箇所へのシーリング処理をします。

▲ 注意

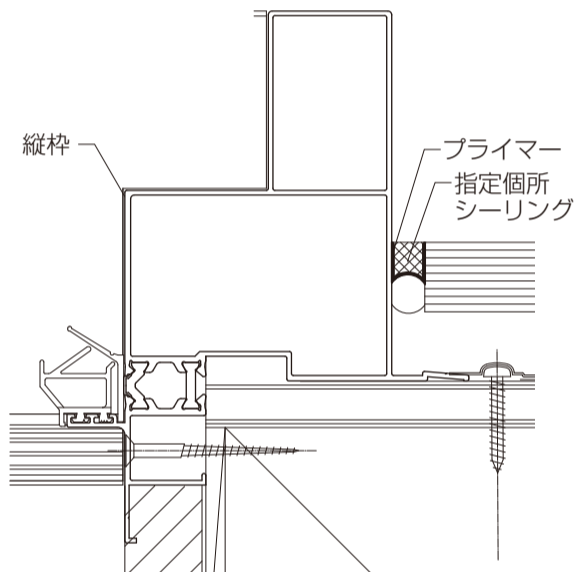
- 本製品取付け後、必ず防水テープ(別売り)を張ってください。漏水の原因になることがあります。



【上枠断面詳細図】



【縦枠断面詳細図】

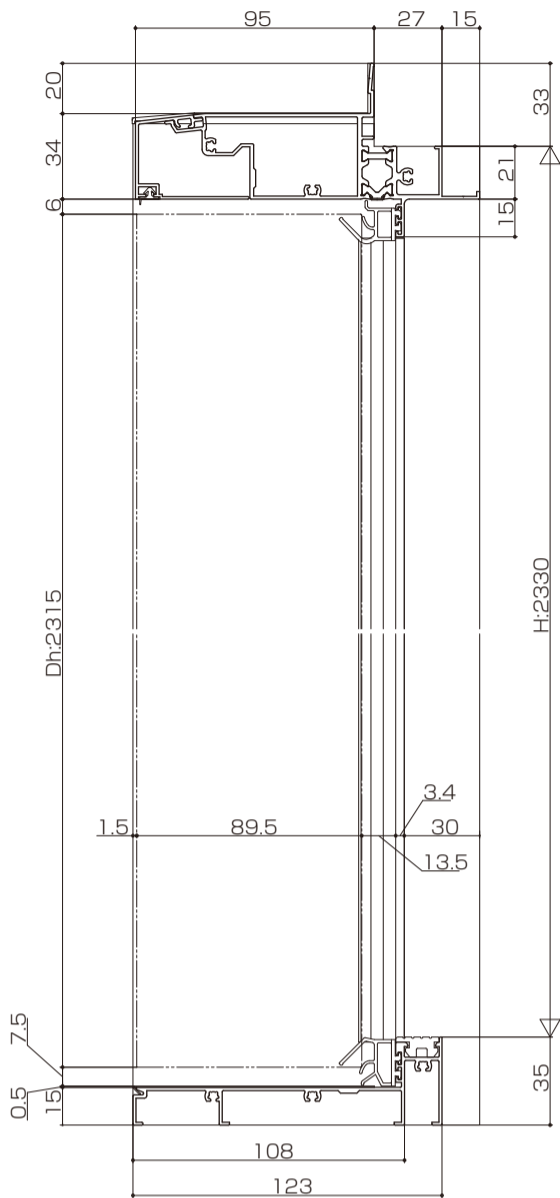


▲ 注意

- 枠周りの漏水防止のため下記事項をお守りください。
 - ・ 指定箇所にはシーリング処理をしてください。
 - ・ シーリング箇所にはコーキング材専用のプライマーを使用してください。(別途)
 - ・ コーキング材は、1成分系変性シリコーンを使用してください。(別途)
(ALC外壁の場合は、専用のポリウレタン系シーリング材を必ず使用してください。(別途))

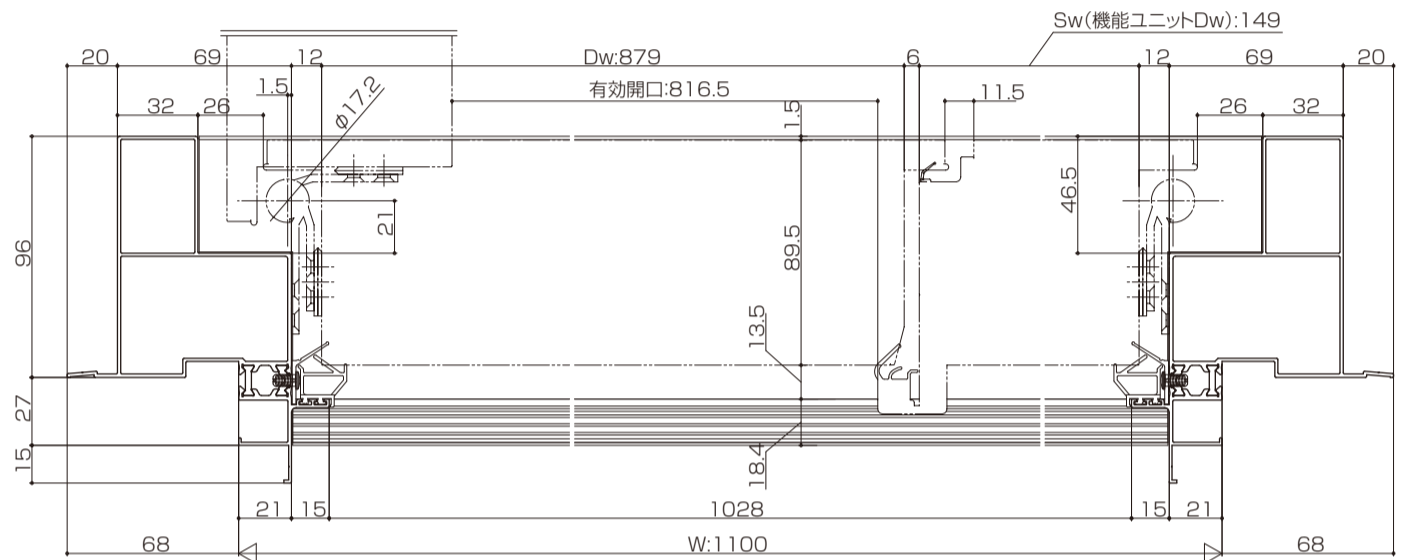
参考納まり図

縦断面図(鉄板仕様)

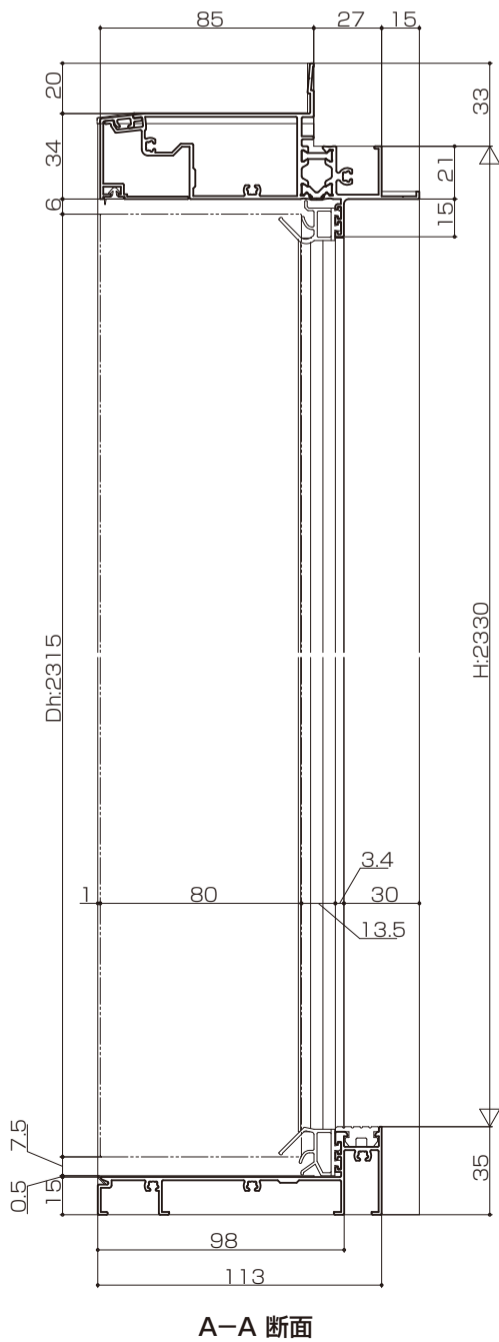


横断面図(F枠(フラットデザイン))

名称	枠基本寸法 W	本体Dw	機能ユニットDw (SW)	内法寸法
親子	1100	879	149	1058



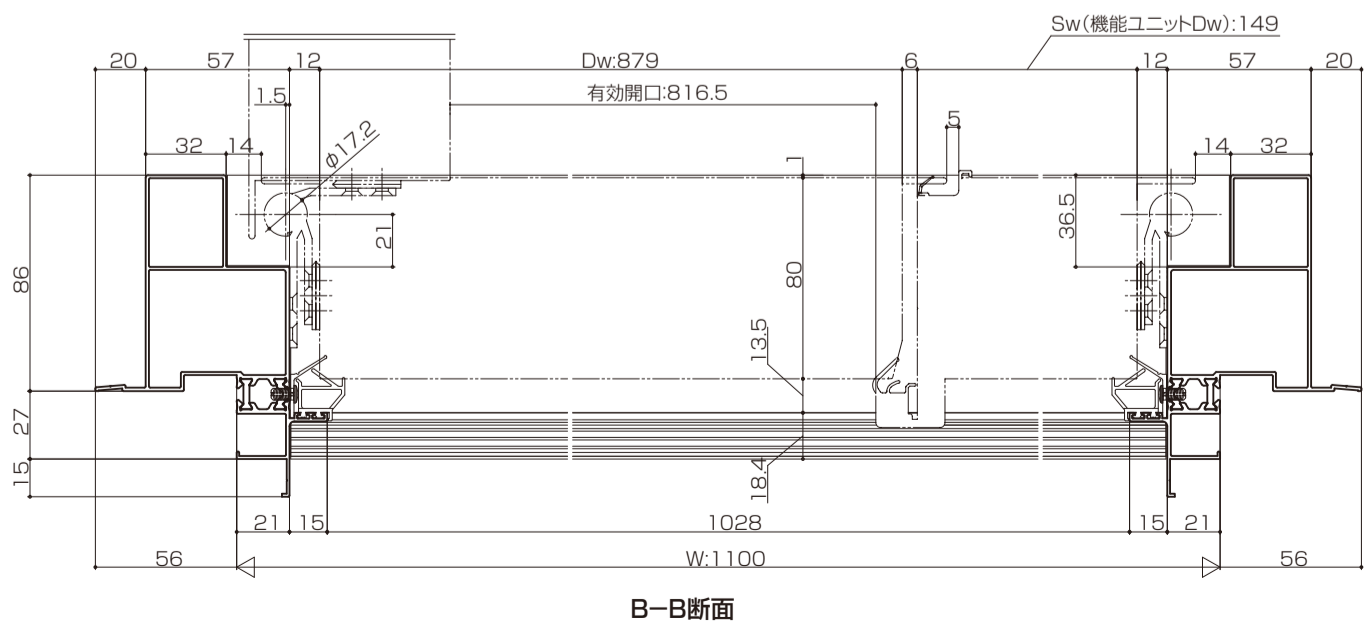
縦断面図(意匠貼り仕様)



A-A断面

横断面図(D枠(板張り調/タイル/ガラスデザイン))

名称	枠基本寸法 W	本体Dw	機能ユニットDw (SW)	内法寸法
親子	1100	879	149	1058



B-B断面